



天文資料

2020年 6月号

令和2年度 第3号 (6月号)

令和2年5月27日

発行：佐世保市少年科学館
佐世保市少年科学館

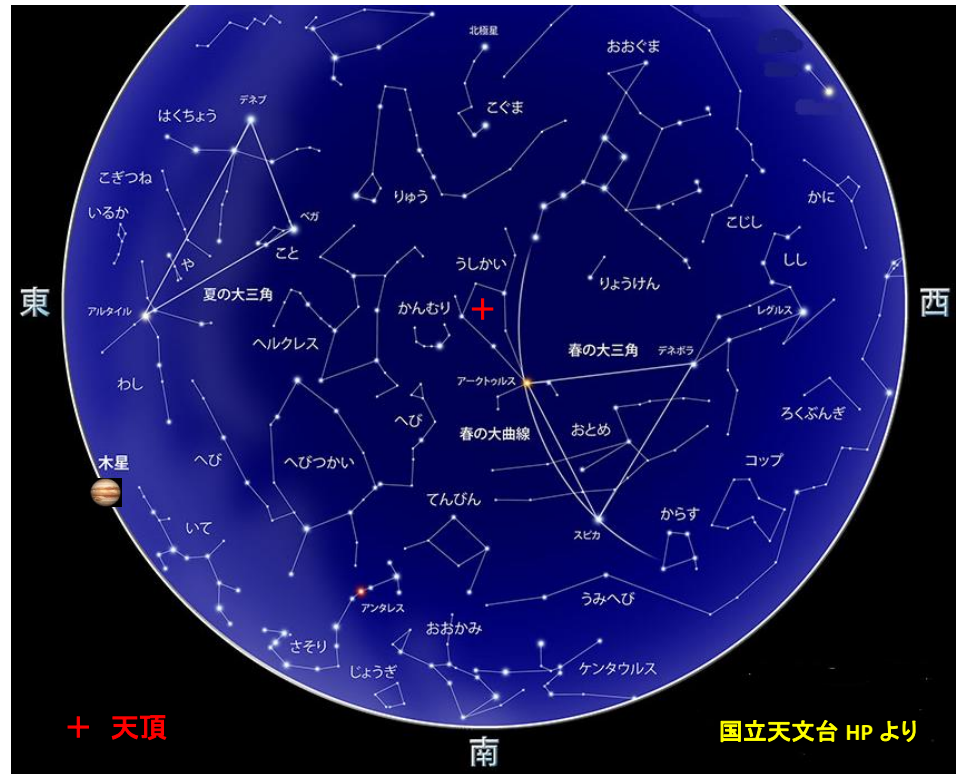


<5月18日(月) 待望の開館です！>

新型コロナウイルスの影響で3月1日から休館となっていました少年科学館ですが、状況がほぼ収束したということで、待望の開館となりました。第2波、第3波が来ないことを切に願っています。

では、6月の星空をご紹介します。

6月の星空は梅雨真ただ中の時期ですので、晴れの日はあまり期待できません。しかし、雨が空気中のほこりを落としてくれますので、晴れると驚くほどクリアな星空を見ることができます。天の川が一番はっきり見えるのも、この時期ではないかと思っています。



この時期、天頂を見上げるとうしかい座のアルクトゥルスがオレンジ色の光を投げかけています。そして南西の空には「真珠星」の和名を持つおとめ座のスピカが真っ白な光を放って…。この2つの一等星は、昔から「春の夫婦星」と呼ばれていました。実際、アルクトゥルスは星空を猛スピードでスピカの方に移動していますので、将来、本当の夫婦星になるでしょう。(約5万年後の話です)

春の大曲線から東側に目を向けると、夏の星座が続々と昇ってきています。その先の地平線を見ますと、木星の姿が。この後にすぐ土星が昇ってきます。惑星観望の時期が近づいてきました。夏が待ち遠しいです。

<核が崩壊した!? 残念だったアトラス彗星2020Y4>

5月中旬、夕方の西の空で明るく見ると予想されていたアトラス彗星ですが、核にあたる部分が崩壊するという驚きの展開を見せました。このような出来事はない話ではないのですが、望遠鏡で見えるような明るい彗星がこのような結末を迎えるのは珍しいことです。

今後、ぜひ肉眼で見ることができるような明るい彗星が現れることを期待したいと思います。

写真の右下(とても薄い雲のような部分)がアトラス彗星、左上の線は人工衛星の光跡です。



お疲れさまでした 「こうのとり」最後のミッション

ISS(国際宇宙ステーション)へ物資を運ぶHTV(物資補給機「こうのとり」)9号機が5月21日未明、種子島宇宙センターからH2Bロケットに搭載され打ち上げられました。「こうのとり」はこれが最後のミッションとなります。これまでの打ち上げはすべて成功、来年から後継機HTV-Xに引き継がれる予定です。(H2Bロケットの後継機H3も開発中です。) 打ち上げ時の光跡は佐世保からも見ることができました。